開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹市議会だより

春 Spring

itami April.26, 2020 vol. 235

CONTENTS

vol. 235の主な内容

P.2～4 …… 代表質問
P.5 …… 個人質問
P.6～7 …… 議案審査
P.7 …… 議決結果
P.8 …… 人事
会議の予定
委員会の視察・要望報告
市議会からのお知らせ

瑞ケ池公園

代表質問

令和2年第1回定例会（2月18日～3月24日）では、各会派を代表して5人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページでご覧いただけます。

伊丹市議会 検索
市議会ホームページから3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム（6月上旬に掲載予定）
②本会議中継・録画配信
③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

会派別議員一覧

伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●新政会

代表 戸田　龍起
花田康次郎
土井　秀勝
佐竹　璃保
杉　　一
（監査委員）高塚　伴子
加藤　光博

●公明党

代表 篠原　光宏
永松　敏彦
里見　孝枝
（副議長）山本　恭子
竹村　和人
北原　速男

●フォーラム伊丹

代表 保田　憲司
大津留　求
高橋　有子
岸田真佐人
安藤なの香
山薗　有理

●創政会

代表 新内竜一郎
鈴木久美子
川井田清香
（議長）佐藤　良憲
吉井　健二

●日本共産党伊丹市議会議員団

代表 上原　秀樹
久村真知子

●会派に属さない議員

小西　彦治
齊藤　真治

新政会

加藤 光博 議員

新病院建設に向けて

問 ドクター確保の見通し、整備に向けたコスト意識の考え、今後の整備スケジュールについて伺う。

答 新病院では、医師の働き方改革として時間外労働時間の上限規則の適用などが進められる中、伊丹病院と近畿中央病院を統合再編し、人員体制を厚くすることで、働き方改革に対応できる診療体制づくりができるものと考える。また、「働きたい病院づくり」を推進し、さらなる医師確保に取り組むとともに、関連大学へ医師派遣協力を依頼し、診療体制に必要な医師確保に努める。

さらに、コスト意識としては、建築コストが年々高騰しており、通常の建物より複雑な機械設備・電気設備が必要となること、また、光熱水費などのランニングコストも高額となるため、両者のバランスを十分に考慮し、仕様などを選定する必要がある。今後、建築コスト削減に向け、先進事例を研究し、建設年度における資材調達や社会情勢を考慮しながら、業者による技術提案を求めるなどして取り組み、2025年度中の開院、2026年度中のグランドオープンを目指す。

一層安心して学べる学校づくり

問 体罰やいじめ、教職員間の暴力など、学校での相次ぐ不適切事案に対する点検・検証方法は。また、今後の取り組みを伺う。

答 全教員は、非違行為防止に向けた研修の受講を必須とし、綱紀粛正はもちろん、体罰、ハラスメントなどの具体的事例の検証や点検を行った。また、体罰の根絶に向け、教職員による児童生徒への体罰の有無について、保護者や児童生徒へのアンケート調査で実態把握を行った。さらに、教職員から学校運営に係る提言や意見を聴取し、学校運営の充実・改善、点検する機会を設けている。今後は、各種アンケートなどを有効に活用するとともに、非違行為防止の周知徹底を図る。また、校内相談体制の構築や自主的な研修会の推奨を行うとともに、研修プログラムに体罰禁止などの内容を組み込み、教員の意識改革と資質向上に努める。

公明党

篠原 光宏 議員

新型コロナウイルス感染症対策

問 現在の市の感染防止対策について、判断基準や状況を伺う。

答 感染力の強さと社会的影響が大きいことに鑑み、伊丹市新型インフルエンザ等対策行動計画に準じた対策を講じてきた。2月28日に感染症対策本部設置後、3月2日に同本部会議を開催し、今後、市全体の取り組みを要することから、伊丹市新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、体制を整えた。6日の同対策本部会議では、阪神間で新たな患者が発生したことを受け、公共施設の臨時閉館を決定した。当該感染症対策は日々刻々と状況が変化しており、市民生活に影響を及ぼす学校の臨時休業やイベントなどの自粛、公共施設の閉鎖など、今後の感染防止対策においても、発生状況と国や県の動向を注視し判断していく。

新学習指導要領の本格実施～ICT教育、道徳教育～

問 ①学校ICT環境の抜本的な改善が行われる中、教師は対応できる体制にあるのか。②子ども達に対する情報モラル教育の充実や有害情報対策などの取り組み策は。③道徳教育の現状について伺う。

答 ①ICT教育の研修体制として、アウトリーチ型研修の実施や、個別対応できるヘルプデスクを設置し、教員へのサポート体制とスキルの向上に努めている。②子ども達に教科などの学習を通して、情報モラルや情報を精査できる力などを育んでいく。また、学校外の団体とも積極的に連携し、子ども達がICTを適切に使用するとともに、被害に遭わないための未然防止に努めている。③教師が一方的に指導するのではなく、児童生徒が課題に向き合い、友達との意見交流などを通して考える力を育成することで、自身の考え方に向き合う姿が見られるようになってきた。個々の人格に働きかけ、道徳性を養うことを目的に、学習状況、道徳性にかかる成長の様子や変化を、授業での感想文や発言等から適切に把握し、また、個人内評価として記述式で行い、認め励ます評価によって自尊感情の向上につなげている。

授業風景

フォーラム伊丹

大津留 求 議員

市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編に係る基本方針案

問 昨年12月に基本方針案が示されたが、市民からの意見や要望をどのように整理し、反映したのか。

答 「市立伊丹病院あり方検討委員会」から市民に最善の医療を提供するため、統合して500～600床規模の基幹的な病院を目指すべきとの提言を受けた。令和元年度、この提言を踏まえ、公立学校共済組合（近畿中央病院の運営主体）と共同で調査研究事業を実施し、協議の結果、統合することが望ましいとの結論に至った。一方で、近畿中央病院との統合再編について市民説明会やシンポジウム等を開催し、市民の意向把握に努めた。これを受け、いただいた意見や質問に答えるため、統合再編基幹病院の規模や立地場所についての方向性を中間報告案として取りまとめたのち再度、意見を伺い、これらを参考に公立学校共済組合との協議結果を踏まえ、基本方針案を策定している。

市立伊丹病院

市民意識調査と近年の差別事象

問 2016年12月に「部落差別解消推進法」が制定されたが、本市が行う市民意識調査の概要や近年の差別事象とその対応について伺う。

答 令和2年度に実施予定の「人権・男女共同参画に関する市民意識調査」は、無作為抽出した15歳以上の市民を対象に、5年ごとに行う市民の意識に関する調査であり、同法第6条に規定する実態に関する調査とは異なるものである。調査項目は、様々な人権問題について市民の意識を問うもので、過去に実施した調査項目と比較検証できる内容とする予定である。

近年の差別事象としては、同和地区に係る問合せやインターネット上での差別を助長する書込みなどがある。対応としては、問合せ者が自ら、自身の差別性に気付くことができるよう応対し、さらに、書き込みについては法務局を通じて削除要請を行っている。

また、事後に、関係者間で差別事案を共有し、その背景や問題点の分析を行い、今後の人権教育・啓発に生かせるよう対応している。

創政会

川井田 清香 議員

市立伊丹病院と統合再編後の新病院における感染症対応策

問 ①現段階での市立伊丹病院における新型コロナウイルス感染症の受診体制は。②新病院におけるさらなる感染症への対応能力を求め「特定感染症指定医療機関病院」の指定について見解を伺う。

答 ①感染の疑いがある患者は、陰圧装置などの機器や医師・看護師の防護服・マスクなどが備えられた隔離外来診察室で診察し、一般の外来患者と動線が交錯しないよう専用入り口を設けている。また、救急外来で感染が疑われる患者は、救急外来内にある陰圧診察室で診察を行う。②救急外来で受け入れた感染症患者に対し、手術室や病室などにおいても適切な感染管理が行えるよう十分な検討を行い、整備を進めていく。また、パンデミック対策として、診療継続計画の策定や医薬品・診療材料の確保も行っていく。なお、感染症指定医療機関の指定は、総合的な診療機能を有する病院のうち、開設者の同意を得て、指定されるため、兵庫県感染症予防計画を踏まえ、県や二次医療圏域における調整会議などを通じ適切に対応していく。

民間保育所の誘致計画と公立幼稚園等の跡地活用

問 定員拡大による、年間を通した待機児童対策と民間保育所の誘致計画、公立幼稚園等の跡地活用の見解について伺う。

答 年間を通しての待機児童対策は、国の有利な財源を活用し、積極的に民間保育所等の誘致を進めている。年度途中の待機児童の解消は、新規入所申込者が増加傾向にあり、年度当初から弾力的な受入れが必要であることや地域偏在もあるため、現時点で解消の時期の明確化は困難である。今後も、保育需要の動向を注視し、定員拡大を図っていく。また、子ども・子育て支援事業計画(案)では、令和2年度からの5年間で520人の定員増を計画しているが、保育需要の推移などに注視しながら、保育需要の見込まれる地域に必要な定員数を確保するため、民間保育所を誘致していく。なお、公立幼稚園などの跡地は、誘致条件に適している場合には活用を検討する。

日本共産党伊丹市議会議員団

上原 秀樹 議員

市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編
～回復期病床をどうするのか～

問 2040年の患者数ピーク時には、回復期病床が2017年対比でも約1,000床不足する。市が責任をもって病院を誘致すべきと求めてきたが、どのように考えているのか伺う。

答 高度急性期・回復期病床の確保は、重要な課題と認識している。しかし、統合再編後の新病院において全ての医療ニーズに対応することは困難であり、「地域完結型の医療」の構築が重要と考え、回復期病床の確保には民間の医療機関の誘致などに努めることとした。新病院は民間の医療機関で担うことができない高度急性期・急性期や不採算部門の医療などを提供する役割を果たす一方で、民間病院には回復期や、かかりつけ医としての役割を担っていただく必要がある。

民間との連携を強化しながら、必要とされる病床機能の確保に向けて調整を進めていく。

市営住宅整備計画(案)
～なぜ、目標管理戸数は1,700戸なのか～

問 市が推計した「将来の著しい困窮年収未満」の世帯数は6,447世帯、その他の住宅などの供給戸数が約4,800戸で、差し引いた1,700戸を必要戸数としている。①「将来の著しい困窮年収未満」の収入基準は。②また、1,700戸では足らないのではないか。

答 ①国土交通省は、著しい困窮年収未満の世帯を「自力で適切な家賃負担で最低居住面積水準を達成することが著しく困難な年収以下の世帯」と定義し、本市の場合、年収は単身世帯で約161万円、2人世帯で約199万円となる。②10年後の目標管理戸数は、国土交通省の「ストック推計プログラム」を用いて設定している。県営住宅に入居される方や福祉施設などの利用が見込まれる方などを除いた世帯数を設定した。今後は、社会経済情勢の変化に的確に対応するため、エレベーター設置の検討や単身高齢者向けの住宅ストックの拡大を図るための改造工事などを実施し、併せて民間賃貸住宅を活用することにより、住宅確保要配慮者の需要に適切に対応できる管理戸数を確保する。

伊丹市営住宅等整備計画

個人質問

代表質問のほか、12人の議員が個人質問を行いました。
ここでは、質問の項目のみを紹介します。代表質問同様、詳細については、ホームページでご覧いただけます。

新政会

花田康次郎　議員
○学校図書館の活用
○新型コロナウイルス対応

土井　秀勝　議員
○Smart Itami
○地域活動拠点整備事業
○みやのまえ文化の郷再整備事業

佐竹　璃保　議員
○エンディングノートから、未来を照らす終活
○足腰の強いまちづくりを。災害対策強化
○ブランディング広報戦略

公明党

永松　敏彦　議員
○ごみ減量化に向けての取組
○市営住宅整備計画(案)

里見　孝枝　議員
○産後ケア事業、産前・産後サポート事業
○フレイル予防

竹村　和人　議員
○スマート自治体
○東京2020 大会パブリックビューイング及び伊丹版マスターズイベント

北原　速男　議員
○新病院建設に伴う「松風園」及び「桃寿園」等の移転
○多文化共生社会
○来庁市民の駐車場確保

フォーラム伊丹

高橋　有子　議員
○4 月からの公立幼稚園・認定こども園
○気候変動における市の緑化
○食物アレルギーの学校給食対応

保田　憲司　議員
○新型コロナウイルス感染症に対する対応

創政会

鈴木久美子　議員
○小学校・中学校で発生するゴミ
○地域自治組織・活動推進事業
○都市計画道路山田伊丹線

日本共産党伊丹市議会議員団

久村真知子　議員
○「お悔みコーナー」設置
○市営住宅の経年劣化にともなう修理

会派に属さない議員

齊藤　真治　議員
○健康政策
○総合交通計画
○中心市街地駐車場等の未納金

議案審査

令和2年第1回定例会では、**議案は60件**でした。

ここでは、専決処分報告を除く全議案のリストとこれらの議案が付託された5つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にⒶ～Ⓗとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

総務政策常任委員会

○令和元年度　一般会計補正予算 Ⓐ

36億8,073万9千円を追加補正

国の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」(令和元年12月5日閣議決定)に基づく補正予算等を活用し、安全で安心できる教育・生活環境の充実を図るために、小・中・特別支援・高等学校における「GIGAスクール構想」実現のための校内通信ネットワークの環境整備が実施されるとともに、幼稚園・小・中学校の大規模改造、空調設備の改修、外壁改修による防災機能強化や公園施設の長寿命化計画に基づく遊具の改修等が実施されるなど、国の有利な財源等を積極的に活用しながら、約32億7,000万円規模の経済対策が実施されます。その他、医療扶助が増加したことなどによる生活保護費の増や、ふるさと寄附等の各特定目的基金への積立てなど所要の経費が計上されました。

その他の議案

○備品の取得

文教福祉常任委員会

○令和元年度　国民健康保険事業特別会計補正予算
○令和元年度　後期高齢者医療事業特別会計補正予算
○支払督促の訴訟への移行による訴えの提起

都市企業常任委員会

○令和元年度　病院事業会計補正予算
○令和元年度　水道事業会計補正予算
○令和元年度　下水道事業会計補正予算
○『選択的夫婦別姓の導入の一日も早い民法改正』を国に求める意見書の提出を求める請願 Ⓑ

一般会計予算等審査特別委員会

○令和2年度　一般会計予算 Ⓒ

一般会計予算額は800億円で過去最高

令和2年度一般会計当初予算は800億円で、前年度比41億円増(5.4%増)となっています。

歳入においては、地方消費税交付金が消費税率の引上げに伴い8億円増、市債が普通建設事業の増加等により14億5,000万円増となります。

歳出においては、扶助費が11億4,000万円増、普通建設事業費が公共施設再配置の進展に加え、大規模改修工事など施設の長寿命化を図るための事業等により21億2,000万円増となります。財政調整基金は、幼児教育推進計画に基づく関連施策のための取り崩しと、就学前施設の再編に伴う土地売払収入等の積立てにより前年度末見込み比8億2,000万円の増となります。

その他の議案

○児童会館条例の制定 Ⓓ
○阪神間都市計画事業昆陽南特定土地区画整理事業の施行に関する条例を廃止する条例の制定
○行政不服審査法施行条例の一部改正
○一般職員服務分限条例及び議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
○特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
○市長等の給与に関する条例の一部改正
○一般職の職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部改正 Ⓔ
○会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員定数条例等の一部を改正する条例の一部改正
○職員等の旅費に関する条例の一部改正
○職員退職手当支給条例の一部改正
○固定資産評価審査委員会条例及び手数料条例の一部改正
○手数料条例の一部改正
○印鑑条例の一部改正
○観光物産ギャラリー条例の一部改正
○福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
○総合教育センター条例の一部改正
○道路の構造基準等に関する条例の一部改正
○市営住宅条例の一部改正

特別会計並びに企業会計予算等審査特別委員会

○令和2年度　病院事業会計予算 Ⓕ

新病院施設整備事業が実施

平成31年度実施の「伊丹市と公立学校共済組合による共同調査研究」において、市立伊丹病院と近畿中央病院は統合し、現在市内で不足する医療を充実させた600床規模の新病院で安定的な運営を実施することが可能との判断がされました。

新たな病院は、現在の市立伊丹病院の診療機能を維持しながら現地建替えが実施されます。

病院建設にあたり、基本設計並びに実施設計等が行われます。

その他の議案

○令和2年度　国民健康保険事業特別会計予算
○令和2年度　後期高齢者医療事業特別会計予算 Ⓖ
○令和2年度　介護保険事業特別会計予算
○令和2年度　中小企業勤労者福祉共済事業特別会計予算
○令和2年度　鴻池財産区特別会計予算
○令和2年度　荒牧財産区特別会計予算
○令和2年度　新田中野財産区特別会計予算
○令和2年度　水道事業会計予算
○令和2年度　工業用水道事業会計予算
○令和2年度　下水道事業会計予算
○令和2年度　交通事業会計予算
○令和2年度　モーターボート競走事業会計予算
○地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

委員会付託なし

○労働福祉会館大規模改造工事の請負契約の一部変更契約
○笹原小学校大規模改造(第2期)工事の請負契約の一部変更契約
○笹原中学校大規模改造及び空調設備改修(第3期)工事の請負契約
○人権擁護委員候補者の推薦
○荒牧財産区管理委員の選任(7件)
○固定資産評価審査委員会委員の選任(3件)
○教育委員会委員の任命(2件)
○選択的夫婦別姓制度の国会審議に関する意見書 Ⓗ

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第1回定例会の**議案60件**のうち**59件**は**可決・承認**されましたが、**請願1件**は**不採択**となりました。

可決承認　議案 56件　報告 1件　諮問 1件　意見書 1件

不採択　請願 1件

賛否の分かれた議案

Ⓐ令和元年度　一般会計補正予算
Ⓑ『選択的夫婦別姓の導入の一日も早い民法改正』を国に求める意見書の提出を求める請願
Ⓒ令和２年度　一般会計予算
Ⓓ児童会館条例の制定
Ⓔ一般職の職員の給与に関する条例及び企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部改正
Ⓕ令和２年度　病院事業会計予算
Ⓖ令和２年度　後期高齢者医療事業特別会計予算
Ⓗ選択的夫婦別姓制度の国会審議に関する意見書

会派名／議員名	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ
	可決	不採択	可決	可決	可決	可決	可決	可決
新政会								
花田康次郎	○	×	○	○	○	○	○	×
土井　秀勝	○	×	○	○	○	○	○	○
佐竹　璃保	○	×	○	○	○	○	○	○
戸田　龍起	○	×	○	○	○	○	○	○
杉　　一	○	×	○	○	○	○	○	○
高塚　伴子（監査委員）	○	○	○	○	○	○	○	○
加藤　光博	○	×	○	○	○	○	○	○
公明党								
永松　敏彦	○	×	○	○	○	○	○	○
里見　孝枝	○	×	○	○	○	○	○	○
山本　恭子（副議長）	○	×	○	○	○	○	○	○
篠原　光宏	○	×	○	○	○	○	○	○
竹村　和人	○	×	○	○	○	○	○	○
北原　速男	○	×	○	○	○	○	○	○
フォーラム伊丹								
大津留　求	○	○	○	○	○	○	○	○
高橋　有子	○	○	○	○	○	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○	○	○	○	○	○
安藤なの香	○	○	○	○	○	○	○	○
山薗　有理				欠	席			
保田　憲司	○	○	○	○	○	○	○	○
創政会								
鈴木久美子	×	×	×	○	○	○	○	○
川井田清香	○	×	○	○	○	○	○	○
佐藤　良憲（議長）	―	―	―	―	―	―	―	―
吉井　健二	○	×	○	○	○	○	○	○
新内竜一郎	○	×	○	○	○	○	○	○
日本共産党伊丹市議会議員団								
久村真知子	○	○	×	×	×	×	×	○
上原　秀樹	○	○	×	×	×	×	×	○
会派に属さない議員								
小西　彦治	○	○	○	○	×	退	×	○
齊藤　真治	○	×	○	○	○	○	○	○

○…賛成　×…反対　―…議長は表決に加わりません。　退…退席

人事

3月定例会において、次の方々が決定されました。(敬称略)

▽固定資産評価審査委員会委員
五條　操　　寺田　勝重
佐久良　實

▽荒牧財産区管理委員
渡邊　正夫　　阪上　博
田中　勝　　阪本　悦治
田中　弘章　　小西　一成
井上　新治

▽教育委員会委員
太田　洋子　　瀧川　光治

▽人権擁護委員候補者
田中　賢一

会議の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/10	11	12	13	14	15	16
	議会運営委員会					
17	18	19	20	21	22	23
	第2回臨時会 本会議					
24	25	26	27	28	29	30
	議員総会					
31	6/1	2	3	4	5	6
				議会運営委員会		
7	8	9	10	11	12	13
	第3回定例会 本会議招集日 議員総会			本会議第2日 一般質問	本会議第3日 一般質問	
14	15	16	17	18	19	20
	本会議第4日 一般質問	議会運営委員会 本会議第5日 一般質問 議案質疑			総務政策 常任委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	文教福祉 常任委員会	都市企業 常任委員会				
28	29	30	7/1	2	3	4
	議会運営委員会 本会議最終日 議員総会					

委員会の視察・要望報告

議会運営委員会

(1/16)　大分県 大分市
「議員政策研究会、議会運営・議会改革の取り組み」
(1/17)　大分県 別府市
「政策研究会、議会運営・議会改革の取り組み」

大分市

飛行場問題対策特別委員会

(1/22)　国土交通省(要望運動)
(1/23)　全日本空輸株式会社(ANA)機体工場

ANA機体工場

市立伊丹病院検討特別委員会

(1/23)　愛媛県
「愛媛県での病院統合・再編」

愛媛県

議会改革特別委員会

(1/27)　大阪府 四條畷市
「議会改革の取り組み」
(1/27)　大阪府 枚方市
「議会改革の取り組み」

四條畷市

※詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。

市議会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

3月定例会では、市議会の日程変更や、書面による代表質問・個人質問の実施、傍聴自粛の要請など、市議会として市民の安全・安心の確保のため、あらゆる対策に努めました。

- ●3月 3日　定例会の日程変更を決定。
- ●3月 9日　書面による代表質問・個人質問の実施。内容はホームページで公開。
- ● 同　日　伊丹市議会災害対策支援本部を設置。その後、適宜開催。
  議会内の質問や要望などを集約の上、伊丹市へ伝達。また、議員の体調把握や管理を行い感染症の拡大防止策を講じた。
- ●3月24日　書面による委員長報告の実施。

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCD を提供しています。

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

「伊丹市議会だより」編集発行：伊丹市議会事務局議事課　〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地（市役所議会棟2階）
☎072-780-4090　FAX072-784-8092　HPhttp://www.city.itami.lg.jp/
伊丹市議会だよりは 84,500部作成し、印刷費は 1 部あたり 6.7円です。